



▲創立総会に出席した組合参加事業所代表の方と来賓の方

労働力確保・働きやすい環境づくりのため
「只見働き隊事業協同組合」
創立総会開催

安定的な労働環境の確保や人手不足解消を目的とした「只見働き隊事業協同組合」の創立総会が3月14日に開かれ、組合定款や事業計画について決議が取られました。
この組合は、国の「特定地域づくり事業協同組合制度」を活用して設立され、過疎地域の働き方の新たな選択肢として期待されています。
創立総会の冒頭では合同会社ねっかの脇坂さんが「この事業が只見町にとって良かったと思われるようなものとしていきたい」と発起人を代表して挨拶をしました。

只見町の水を守る新たな補助制度
「浄化槽維持管理費助成金」
「浄化槽設備修繕費補助金」施行

新しい補助金として「只見町浄化槽維持管理費助成金支給（以下維持管理費助成金）」「只見町浄化槽設備修繕費補助金交付（以下修繕費補助金）」が、4月1日から施行されました。

これは、浄化槽の適正管理の促進や適性機能の維持により水質汚濁を防止し、生活環境や公衆衛生の継続的な保全を図ることを目的とした補助制度です。

維持管理費助成金は、対象者の浄化槽の検査（※法第7条検査、※法第11条検査）費用を補助するものです。

修繕費補助金は、対象者の浄化槽修繕費用を補助するものです。

なお、詳細につきましては、4月1日発行のおしらせばんをご覧いただくか農林建設課（☎82-5270）へお問い合わせください。

※法第7条検査…浄化槽を設置して使用開始後3～8か月の間に1回受けていただく検査

※法第11条検査…毎年1回受けていただく検査

只見中 中学生記者が書く SDGsコラム

ペット フリー マンデー
第3回 『PET Free Monday』の取組(前編)

文：佐藤 優妃（3年生 SDGs委員長）



先月の『広報ただみ』にもあったように、只見中学校では2年上の先輩から新潟の海にゴミ拾いに行っていて私たちが3年目となりました。先輩方から話を聞いていたのですが、やはりプラスチックゴミが多いことを知ることができました。先輩方はこれをきっかけに新聞紙レジ袋の作成を始めたのですが、その気持ちが分かりました。ここには日本や外国のゴミが散乱しており、それでも私たちがゴミを拾う10日ほど前に拾ったばかりだと聞き、ますます驚きました。先輩たちが続けてきた活動はこれからも続けていかなければならないと思っただけでなく、もう少し積極的に発信する必要があると考えようになりました。



10月の委員会改編により、私はSDGs委員長になりました。先輩方の活躍からすると少し荷が重いと思いましたが、何かできるチャンスとも感じたのでした。先生にも相談し、身近なペットボトル飲料に関しての取組をスタートすることにしました。私たちの生活の中でよく使われているペットボトル。現在は飲料だけでなく、醤油やドレッシングの容器としても利用されています。ビンに比べると割れないだけでなく軽量なため、力があまりないお年寄りや子どもでも簡単に扱うことができます。軽いということは輸送の点でもCO₂の削減に繋がっています。委員会の話し合いや先生との相談で、この利点も活かしつつペットボトルの使用量を減らすには、ペットボトル飲料の利用を制限する日をもうけるのが良いのではという結論に達しました。これが、『PET Free Monday（ペットフリーマンデー）』の始まりです。これは先生から教えてもらったのですが、元 Beatles のメンバーであるポール・マッカートニーさんが立ち上げた運動「ミートフリーマンデー」という活動があり、この活動の名前をペットボトルに言い換えたものです。本家の「ミートフリーマンデー」は毎週月曜日の肉食を控え、畜産によるメタンガス（温室効果ガスの一つ）の排出を抑えるための活動だそうです。地球に優しくという点では、世界的なミュージシャンも只見中学校も、その思いは変わらないということになります。（5月号に続く）